

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターラブラドル		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 9日		～ 令和7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 9日		～ 令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応の充実	手厚い職員体制で利用者様の体調や様子に合わせた活動を提供している。	引き続き継続していく。 成長に合わせた活動を提供していく。
2	医療的ケア児の受け入れ	看護職員を配置。 看護職員以外の職員も医療的ケア児の研修に参加し、医療的ケアについての知識を学んでいる。 病院との連携。	引き続き継続していく。 体調面をみながら様々な活動に参加できるよう、工夫していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信	日々、連絡ノートでの連絡はしているが、定期的なお便りの発行やSNS等での情報発信をしておらず、保護者の方への情報発信が不足している。	引き続き、日々の連絡ノートで事業所内での様子を保護者の方へお伝えしていく。 行事のお知らせや定期的なお便りの発行ができるよう、検討していく。
2	環境整備	児童用スペースの確保しているが、生活介護利用者も同じ部屋を使用することがあるため、	成長に合わせた環境整備していく。マットなどを活用して安全に過ごせるようにする。危険な箇所が無い点検していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サポートセンターラブラドル

公表日 令和7年 2月 7日

利用児童数

1名

回収数

1名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				1	感染症対策により事業所の中に入っていた機会が減ってしまいました。面談時などに実際に過ごしている部屋を見ていただけるようにしたいと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1			1日の流れは大きく変動はありませんが、今後様々な活動ができるよう職員間で検討し、工夫していきたいと思えます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1			年に2回面談を実施しております。ごちからの助言というより、ご家族の方から教えていただくことが多いです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1		個人情報の取り扱いについては十分注意しております。
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		各マニュアルの作成はしていましたが、保護者の方への周知不足でした。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		避難訓練や緊急時対応の訓練実施しておりますが、保護者の方への周知不足でした。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				1		事故発生事例はまだありませんが、事故が発生した場合は、保護者の方へ連絡し、対応していきます。また、発熱や嘔吐など体調面に変化があった際は保護者の方へ連絡させていただいております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					ご回答ありがとうございました。今後も利用者様やご家族が安心して過ごせるよう、努めてまいります。また、利用者様に楽しく過ごしていただけるよう、様々な活動や遊びを提供していきます。情報を発信していけるよう工夫してまいります。

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名	サポートセンターラブラドル		公表日	令和7年 2月 7日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		感染症対策により、生活介護利用者との接触を避けるため、児童のみ過ごす、以前より広い活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊ぶスペースと休憩するスペースを分けています。出入口にスロープを設置しています。施設内もバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児童帰宅後、部屋の清掃、消毒をしています。活動内容によって、テーブルの配置等変えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室の確保が可能になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に職員会議や面談を実施し、業務改善に取り組んでいます。職員会議の回数を増やし、情報共有の機会を増やしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方からの評価表を集計し、結果を閲覧しながら職員会議を開催しました。個々の事案について検討し、改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別課題の作成や行事の内容など、職員からの意見を取り入れ実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加、職場内研修の実施をしています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを行い、保護者面談を実施しています。成長に伴いニーズや課題も変化するため、職員間で情報共有をし、計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画は「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を踏まえて作成しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用者様の状況に応じて、職員間で情報共有を行い、活動内容について検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		体調面や生活リズムを整えるため、大きく1日の流れが変化することはありませんが、活動が固定にならないように活動を企画しています。また、利用者様の状況に合わせて個別に活動提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			体調面を考慮し、個別での活動が中心となっています。今後は小集団での活動の中でも楽しめるよう活動を工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日日課担当表を作成し、支援に当たっています。その他、職員連絡ノート等を活用し、情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		全体での打ち合わせは難しいため、個別に報告を受け、その後職員への情報伝達を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回記録をとり、必要に応じて担当者会議を開催し、支援の内容を検討しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達管理責任者が参画しています。必要に応じて看護職員も参加することもあります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		主治医からの指示書や、緊急時の対応について連携をとっています。通院同行させてもらい、主治医より直接助言いただいております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併用利用している事業所と情報共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者会議に出席し、情報提供、情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			感染症対策により、現在交流は行っておりません。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者の方から連絡ノートや口頭でお家での様子や体調面教えてもらい、事業所内での様子も連絡ノートや口頭で伝えて	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		重症心身障害児に該当される方や、医療的ケアが必要な方が利用しているため、保護者の方から対応の仕方について教えて頂くことが多くあります。保護者の方からご要望があった時は、事業所内で支援内容を検討し、家族支援にも取り組んでいます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		サービス利用時に説明を行っています。また、連絡ノートを活用したり、面談を実施し、支援内容について説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○		保護者の方からの相談があった時は、事業者内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。個別面談の際に要望を確認する機会を設けています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○		児童発達支援管理責任者より説明し、同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		保護者の方からの相談があった時は、事業者内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在父母の会や保護者会、きょうだい同士の交流は保護者の方の負担を考え、開催しておりません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		相談があった場合は事業所内で検討し、受け入れ体制を整えています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		定期的な会報の発行はしていませんが、行事があった際にはお便りや写真で活動内容を発信しています。今後も活動の様子が保護者の方へ伝わるように、情報提供に努めていきます。SNSはしていませんが、HPIにて評価表、支援プログラムの公表実施しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		注意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		個性が高いため、特性に合わせた意思の疎通を行うよう、心掛けています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方が参加できる行事を開催していないため、地域の方と交流する機会が少ないのが現状です。感染症予防の面でも交流は行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		各マニュアルがあり、職場内研修を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策についての情報を発信しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		業務継続計画策定しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		服薬情報については事前に保護者の方から教えていただき対応しています。服薬が追加された時はその都度お薬説明書のコピーさせていただいています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在児童発達支援利用者には食物アレルギーの方はいませんが、保護者の方から禁止されている食べ物の聞き取りを実施し、職員間で共有しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画を作成し、研修、訓練を実施しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		感染症対策による事業所の対応について周知しています。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		過去の事例や、危険であることが予測される事について、職員間で情報共有を行っています。ヒヤリハットについては、職員がいつでも閲覧できるようになっています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修への参加、職場内研修の実施をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		現在、該当の方はいませんが、安全を第一に考え、危険回避のため身体拘束が必要な場合は、保護者の方に説明し了解を得た上で同意書を得られ、個別支援計画に記載しています。